



2025年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年3月12日

上場会社名 神島化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4026 URL <https://www.konoshima.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布川 明
問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 藤村 倫夫 TEL 06-6232-5350
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第3四半期の業績(2024年5月1日~2025年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	20,642	7.8	1,369	3.9	1,312	2.1	1,037	6.7
2024年4月期第3四半期	19,152	8.6	1,318	△19.8	1,285	△20.9	972	△4.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	114.54	113.93
2024年4月期第3四半期	107.46	106.90

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	30,668	12,553	40.7
2024年4月期	29,747	11,909	39.8

(参考) 自己資本 2025年4月期第3四半期 12,495百万円 2024年4月期 11,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2025年4月期	—	22.00	—	—	—
2025年4月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年4月期の業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,400	5.5	2,350	11.0	2,300	10.9	1,650	1.8	182.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年4月期3Q	9,240,000株	2024年4月期	9,240,000株
2025年4月期3Q	174,633株	2024年4月期	187,142株
2025年4月期3Q	9,060,476株	2024年4月期3Q	9,048,472株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安を背景としたインバウンド需要の拡大や賃上げによる所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東地域の紛争激化、急激な為替変動や慢性的な物価上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場において新設住宅着工戸数は、貸家が前年比プラスになったものの、持家及び分譲住宅が減少し、全体では609千戸と前年比1.3%の減少となりました。

このような経営環境の中、当社は、『環境対策等の社会課題へ対応することによって持続的成長モデルを構築し、社会貢献と利益拡大を両立』、『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応』の中期経営計画の基本方針に基づき、経営に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は20,642百万円と前年同四半期比1,490百万円(7.8%)の増収となりました。営業利益は1,369百万円と前年同四半期比51百万円(3.9%)の増益、経常利益は1,312百万円と同26百万円(2.1%)の増益、四半期純利益は1,037百万円と同65百万円(6.7%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建材事業

住宅分野は、高付加価値製品の高級軒天ボードの販売が堅調に推移したことに加え、けい酸カルシウム板「ブライケイカル」やサイディング「ドレッセプレミアム」の売上高が増加しました。

非住宅分野は、前期後半からの工事遅れが依然として続いており、減収となりました。

これらの結果、売上高は11,462百万円と前年同四半期比791百万円(7.4%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、固定費増加や在庫減の影響があったものの、増収効果により、761百万円と同56百万円(8.0%)の増益となりました。

② 化成品事業

マグネシウムは、前期に大型設備が稼働したことに加え、海外の健康関連のサプリメント用途の酸化マグネシウムの需要好調により増収となりました。

セラミックスは、主要製品の蛍光体が好調に推移しました。

これらの結果、売上高は9,179百万円と前年同四半期比698百万円(8.2%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、大型設備投資に係る減価償却費などの固定費増加があったものの、順調に設備稼働率が高まり、販売数量増加により1,196百万円と同110百万円(10.2%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は30,668百万円となり、前事業年度末(以下、「前年度」という。)に比べ921百万円増加となりました。主な増加要因は、有形固定資産が459百万円増加したことによるものであります。

負債は18,115百万円と前年度に比べ277百万円増加となりました。主な増減要因は、長期借入金が993百万円減少し、設備関係電子記録債務が1,086百万円増加したことによるものであります。

純資産は12,553百万円と前年度に比べ643百万円増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が648百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月期の業績につきましては、2024年6月12日の決算発表時に公表いたしました数値から、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,174	1,404
受取手形及び売掛金	3,849	3,767
電子記録債権	902	1,081
商品及び製品	2,862	2,796
仕掛品	998	814
原材料及び貯蔵品	1,235	1,396
その他	414	431
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,437	11,693
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,717	5,602
機械及び装置（純額）	8,644	8,369
土地	1,384	1,384
建設仮勘定	415	1,183
その他（純額）	784	865
有形固定資産合計	16,946	17,405
無形固定資産	82	99
投資その他の資産		
投資有価証券	431	394
繰延税金資産	727	754
その他	121	321
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,280	1,469
固定資産合計	18,309	18,975
資産合計	29,747	30,668

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,886	1,812
電子記録債務	1,076	1,089
短期借入金	5,600	6,200
1年内返済予定の長期借入金	1,119	1,105
未払法人税等	131	78
賞与引当金	440	203
製品保証引当金	137	94
設備関係支払手形	2	5
設備関係電子記録債務	334	1,420
その他	1,654	1,675
流動負債合計	12,382	13,685
固定負債		
長期借入金	3,224	2,230
退職給付引当金	1,765	1,841
訴訟損失引当金	31	45
その他	433	312
固定負債合計	5,455	4,430
負債合計	17,837	18,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,086	1,094
利益剰余金	9,502	10,150
自己株式	△221	△207
株主資本合計	11,687	12,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	162	136
評価・換算差額等合計	162	136
新株予約権	59	57
純資産合計	11,909	12,553
負債純資産合計	29,747	30,668

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年5月1日 至2024年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年5月1日 至2025年1月31日)
売上高	19,152	20,642
売上原価	14,322	15,439
売上総利益	4,829	5,202
販売費及び一般管理費	3,511	3,833
営業利益	1,318	1,369
営業外収益		
受取配当金	11	12
物品売却益	9	8
その他	20	16
営業外収益合計	41	36
営業外費用		
支払利息	60	79
その他	13	14
営業外費用合計	74	93
経常利益	1,285	1,312
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	14	13
固定資産除却損	18	26
特別損失合計	33	39
税引前四半期純利益	1,252	1,272
法人税、住民税及び事業税	191	250
法人税等調整額	88	△15
法人税等合計	279	234
四半期純利益	972	1,037

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,671	8,480	19,152	—	19,152
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,671	8,480	19,152	—	19,152
セグメント利益	704	1,086	1,791	△472	1,318

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△472百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,462	9,179	20,642	—	20,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,462	9,179	20,642	—	20,642
セグメント利益	761	1,196	1,957	△588	1,369

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△588百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△588百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	1,315百万円	1,485百万円